

研究資料

バラ園が来園者の心理状態に与える効果

望月寛子・植松史郎*・野村和成*・腰岡政二*

(平成 22 年 6 月 3 日受付 平成 22 年 8 月 20 日受理)

Effects of a Rose Garden on Visitors' Mental State

Hiroko MOCHIZUKI-KAWAI, Shiro UEMATSU, Kazunari NOMURA and Masaji KOSHIOKA

Summary

It has been reported that, in city life, public spaces with nature play important roles in area communication and human health. The aim of this study was to investigate the psychosocial effects of a rose garden for visitors. Using questionnaires, we asked visitors about their purposes of visiting and how their mood changed in the garden. The results showed that the rose garden provided opportunities for people to enjoy many roses with family members or friends. Members of nursing homes and schools used the garden space as a recreation area. Relaxation and stress reduction were reported in about half of visitors. These results suggest that rose gardens might help improve the quality of life of visitors.

Key Words: rose garden, questionnaire, visitor

* 現日本大学生物資源科学部植物資源科学科

緒言

都市化が進む中、花や緑のある空間の必要性が指摘されている。公園などの緑あふれる空間は人々が自然に親しむ場を提供するだけでなく、安全な子供達の遊び場や高齢者の憩いの場として様々な役割を担っている。近年では、花や緑があることによって緊張感や怒り感情の低減(岩崎・山本, 2006)、血圧の安定(望月・望月, 2008)、ストレスホルモンの低下(朴ら, 2004)といった心理・生理的効果が指摘されるようになった。身近に植物と触れ合うことのできる空間は近隣住民の心と身の健康に重要な役割を果たしている可能性が高い。大学付属の植物園が公園と同様の役割を担っている例もある。ボストンにあるハーバード大学付属植物園(アーノルド樹木園)は近隣の公園と一体となって独特の緑地を形成し、良質な居住環境の形成に貢献している(石川, 2004)。

わが国にも大学付属の植物園があり、定期的に一般開放が行われている。ハーバード大学付属植物園と同様に花や緑のある空間を提供し、来園者のメンタルヘルス維持・向上に役立っていると考えられるが、その効果についての調査はこれまで行われていない。そこで本調査では、日本大学生物資源科学部付属農場(バラ園)の一般開放に訪れた来訪者を対象に質問紙調査を実施し、バラ園開放の地域居住環境に与える効果を検証した。

方法

神奈川県藤沢市にある日本大学生物資源科学部付属農場(バラ園)がバラの開花に合わせて行っている一般無料開放を利用し、2009年5月10日から5月27日までの18日間の来場者に対して質問紙への回答を依頼した。同バラ園には、調査を行った2009年5月時点において3,000 m²の敷地に約200品種、750株が植えられていた。質問紙は一般用(資料1)、教育・医療・福祉関連施設用(資料2)の2種類を準備した。教育・医療・福祉関連施設用の質問紙は引率の代表者1名が回答し、引率者自身の感想ではなく被引率者の様子を観察して回答する形式を一部採用した(例:(被引率者の)ストレスが軽減されたようだ、表情が穏やかだった)。

一般用質問紙は大きく6項目で構成し、1)年齢や性別、居住地域、2)来園頻度、3)来園形態および目的、4)バラ園の感想、5)バラ園の役割、6)今後の来園についてという内容とした。教育・医療・福祉関連施設

用質問紙も6項目に分け、1)施設の種類と所在地、2)来園頻度、3)来園形態および目的、4)バラ園の感想、5)バラ園の役割、6)今後の来園についてという内容とした。2種類の質問紙は回答形式に一部異なる点はあるが、内容はほぼ同等であった。

結果

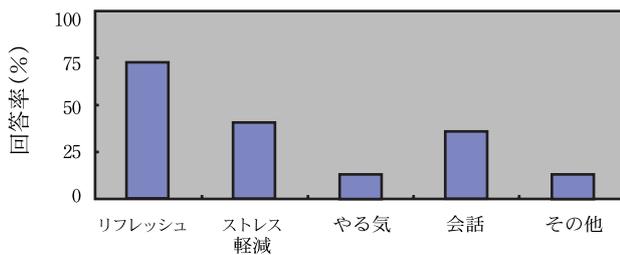
調査期間中の来園者で記帳に応じた人数は1,374名、そのうち一般用質問紙への回答者は233名、教育・医療・福祉関連施設用質問紙への回答は39施設であった。

第1表に一般質問紙回答者の属性と来園頻度、形態、目的を示す。50歳以上の主婦層が家族や友人と一緒に来園するパターンが多かった。居住地は藤沢市内が7割以上を占め、近隣住民の利用が多いことが示された。市外からの来場者も約2割存在した。来園頻度は年に1~2回が多く、バラの観賞を目的とした来園理由が最も多かった。来園目的に関するその他の欄には79件もの自由記述が寄せられ、珍しい品種を見る、写真を撮るといった目的が多かった。バラ園の感想では30件の自由記述があり、「美しい花に気分爽快」、「闘病をがんばろうとおもった」、「バラの香りで気分が良くなった」などの心理的な変化や、バラ園の維持に関わっているスタッフの努力に対する感謝、「バラを育ててみたい」といった将来の行動に関する内容が認められた。選択式の回答においても約7割の来園者が気分のリフレッシュを報告し、約4割の来園者がストレス軽減を報告した(第1図)。バラ園の役割については、季節を感じる場としての利用や散歩コースとしての利用(第2図)が多く、回答者の85%がまた来園したいと回答した(是非また来園したい70%、来園したい14%、どちらかという到来園したい1%、来園しない0%、無回答15%)。

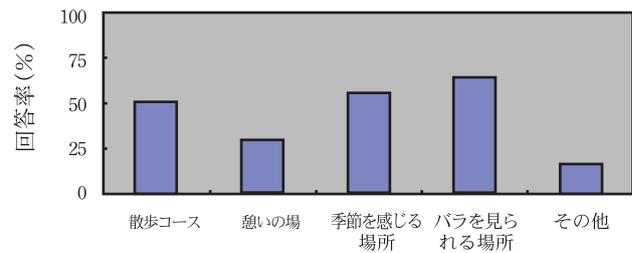
第2表に教育・医療・福祉関連施設用質問紙の回答施設の属性と来園頻度、形態、目的を示す。割合で見ると50歳以上の来場が多く、月に1回と定期的に訪れているケースもあることがわかった。来園人数は様々であり、20名以上の多人数で訪れているケースも認められた。来園目的としては、一般来園者と同様にバラの観賞が最も多かった。来園を年間行事としている施設も18%存在した。また、引率したスタッフによると、同行者の表情が普段より穏やかであり、会話がはずんでいるようすが観察され、半数以上の記入者が気分のリフレッシュを報告した(第3図)。バラ園の役割も一般来園者と類似しており、散歩コース、季節を感じる、バラを見る場所など

第1表 一般質問紙の回答者の属性と来園頻度、形態、目的

項目		割合 (%)
1-1 性別	男性	21
	女性	70
	無回答	9
1-2 年齢	10才代	2
	20才代	1
	30才代	3
	40才代	7
	50才代	23
	60才代	42
	70才代以上	24
1-3 職業	主婦	47
	会社員（公務員含む）	12
	学生	2
	無職	23
	その他	6
1-4 住所	無回答	11
	藤沢市内	75
	藤沢市外	18
	神奈川県外	2
2 開園中の利用頻度	無回答	6
	初めて	13
	数年に1回以下	11
	1年に1～2回	48
	1年に3～10回	18
	月に1回	2
3-1 来園構成人数	週に1回以上	6
	1名	23
	2名	47
	3～5名	23
	6～9名	5
3-2 誰と来園したか	10名以上	1
	家族	41
	親類	3
	隣人	3
	友人	33
3-3 来園目的 (複数回答可)	その他	2
	バラを見て楽しむ	91
	バラの香りを楽しむ	58
	待ち合わせ	1
	気晴らし	14
	散歩	44
	その他	34



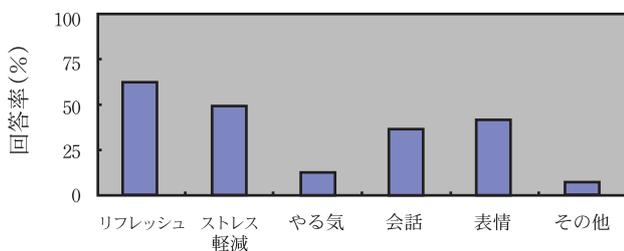
第1図 バラ園の感想：一般来園者（複数回答可）



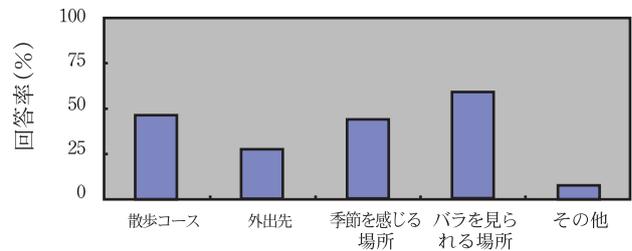
第2図 バラ園の地域での役割：一般来園者（複数回答可）

第2表 教育・医療・福祉関連施設質問紙の回答者の属性と来園頻度、形態、目的

項目		割合 (%)
1-1 施設	教育関連	10
	医療関連	3
	福祉関連	23
	その他	67
	無回答	0
1-4 所在地	藤沢市内	64
	藤沢市外	28
	神奈川県外	0
	無回答	5
2 開園中の利用頻度	初めて	26
	数年に1回以下	67
	1年に1～2回	8
	1年に3～10回	6
	月に1回	51
3-1 来園構成人数	週に1回以上	13
	1名	21
	2名	38
	3～5名	15
	6～9名	13
3-2 年齢層	10名以上	13
	10才代	5
	20才代	0
	30才代	0
	40才代	3
	50才代	28
	60才代	38
70才代以上	33	
4 来園目的 (複数回答可)	年間行事の一つ	18
	バラを見て楽しむ	56
	バラの香りを楽しむ	49
	気晴らし	10
	散歩	23
	その他	10



第3図 バラ園の感想：教育・医療・福祉機関（複数回答可）



第4図 バラ園の地域での役割：教育・医療・福祉機関（複数回答可）

に回答が集まった（第4図）。引率者の85%がまた来園したいと回答し（是非また来園したい69%、来園したい16%、どちらかというとか来園したい0%、来園しない0%、無回答15%）、82%がバラ園無料開放の存続を期待していた（ぜひ続けて欲しい72%、続けて欲しい10%、どちらかというとか続けて欲しい0%、続けなくて良い0%、無回答18%）。

一般、教育・医療・福祉関連施設用質問紙の双方において得られたその他の意見や感想としては、施設を開放している大学や学生への評価の向上（手入れをしている学生の感じが良かった、大学に親しみを感じる）、無料開放への感謝（無料だから気軽に来られる、バラ園があるだけで住民の心にゆとりが感じられる、美しい種類のバラを見ることができ大変嬉しい）が認められた。要望としては、開園時間の延長や切り花・香料などの即売会の開催が挙げられていた。

考 察

日本大学生物資源科学部附属農場（バラ園）の一般開放が来園者に与える効果について質問紙調査を実施した。来園者は18日間で1,374名にのぼり、藤沢市内外から多くの人を訪れており、バラ園はすでに地域の中で広く認知された存在であることが示唆される。来園目的やバラ園の感想、役割は一般来園者、施設来園者に大きな違いを認めなかった。来園目的は複数種類のバラの観賞が最も多く、バラを観賞することによって半数以上の来園者に心理面での変化（気分のリフレッシュ）を認め、約3割の来園者が行動面での変化（会話がはずんだ）を報告した。一般来園者、施設来園者から得られた回答に類似点が多かったのは、障害の有無や年齢を問わずバラが魅力的な花であり、様々な人に心理的な影響を与えることを示唆している。

花や緑の存在が人間の行動や心理状態に影響を与えることはこれまでも報告されている。杉原ら（2005）は高齢者施設において花や野菜を中心とした園芸療法を実施したことでコミュニケーションが円滑になり、抑うつ気分が減少したことを報告した。生理学的実験ではストレス状況の後に花を見ると、花を見なかった条件に比べて血圧が安定するという知見もある（望月・望月、2008）。本調査の結果は先行研究の結果と矛盾しない。バラ園は栽培の難しいバラの観賞機会を提供することで来園者の豊かな生活と心身の健康増進に一定の役割を果たしている。

摘 要

バラ園の一般開放が来園者に与える心理的效果を調査するために質問紙調査を実施した。来園者は18日間で1,374名にのぼり、バラの観賞を目的として多くの人を訪れていた。バラ園の存在は地域に定着しており、家族や友人、施設の仲間とバラを楽しむ場として重要な役割を担っている。さらに半数以上の来園者に心理面で、約3割の来園者に行動面でのポジティブな変化が認められた。バラ園は来園者のメンタルヘルス維持・向上に一定の役割を果たしている。

引用文献

- 石川 幹. 2004. 街路景観と並木道. *International Association of traffic and Safety Sciences (IATSS)*. 28:25-33.
- 岩崎 寛・山本 聡. 2006. 造園分野における人の健康と緑の効果に関する取り組み. *ランドスケープ研究*. 70:145-150.
- 杉原式穂・青山 宏・竹田里江・池田 望・小林昭裕. 2005. 園芸療法が施設高齢者の精神機能および行動面に与える効果. *老年精神医学雑誌*. 16:1163-1173.
- 望月寛子・望月 聡. 2008. 精神的ストレス後の血圧回復期における花の観賞効果. *園学研*. 7(別2):369.
- 朴 範鎮・恒次祐子・総谷珠美・高山範理・大平辰朗・松井直之・村田秀夫・山口昌樹・安河内朗・平野秀樹・香川隆英・宮崎良文. 2004. 森林浴の生理的效果 (I) 一唾液中コルチゾールならびに脳活動 (TRS) を指標として. *日本生理人類学会誌*. 9特別号 (2):44-45.

バラ園に関するアンケート調査

当バラ園は地域の皆様の健康増進、居住環境の向上を目指して無料開放を行ってきました。このような試みが皆様にどのように受け取られているか、是非ご意見をお聞かせください。アンケートの結果は当バラ園の今後の運営のためだけに使用します。また、結果は統計的に処理しますので、回答内容について個人が特定されることはありません。

実施責任者 日本大学生物資源科学部附属農場
植物資源科学科

1) あなたご自身についてうかがいます。当てはまるものに○をつけてください。

- ① 性別： 男性 ・ 女性
② 年齢： 10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70歳以上
③ 職業： 主婦 ・ 会社員または公務員 ・ 学生 ・ 無職 ・ その他（ ）
④ 住所： 藤沢市内 ・ 藤沢市外 ・ 神奈川県外（都道府県名 ）

2) 開園中、当バラ園にはどの程度の頻度でいらしていますか？

数年に1回以下 ・ 年に1～2回 ・ 年に3～10回 ・ 月に1回 ・ 週に1回以上

3) 本日のご来園についてうかがいます。

- ① 何人でいらっしゃいましたか？（ ）人
② 誰といらっしゃいましたか？
家族 ・ 親類 ・ 隣人 ・ 友人 ・ その他（ ）

③ 当バラ園に来られた理由として当てはまるもの全てに○をつけてください（複数回答可）

バラを見て楽しむ ・ バラの香りを楽しむ ・ 待ち合わせ
気晴らし ・ 散歩 ・
その他 ・ ・ ・ ・ ・ 下欄に自由にお書きください。

4) 当バラ園をご覧になっていかがだったでしょうか？

下記の中で当てはまる箇所全てに○をつけてください。(複数回答可)

- () 1. 気分がリフレッシュできた
- () 2. 日常のストレスが軽減された
- () 3. やる気がでてきた
- () 4. 会話がはずんだ 複数でご来園された方
- () 5. その他 下記に自由にお書きください

5) 当バラ園の地域での役割についてご意見をお聞かせください。

下記の中で当てはまる箇所全てに○をつけてください。(複数回答可)

- () 1. 散歩コースとしてちょうど良い
- () 2. 近隣住民の憩いの場となっている
- () 3. 花の開花で季節を感じることができる場となっている
- () 4. 複数種類のバラを見ることが出来る貴重な場となっている
- () 5. その他 下記に自由にお書きください

6) 次のご来園について当てはまる所に○をつけてください。

是非また来園したい . 来園したい . どちらかという来園したい . 来園しない

ご記入いただきありがとうございました。

バラ園に関するアンケート調査

このアンケートは教育・医療・福祉関連の施設より来園された方々の代表者にご記入をお願いしております。

当バラ園は地域の皆様の健康増進、居住環境の向上を目指して無料開放を行ってきました。このような試みが皆様にどのように受け取られているか、ご意見をお聞かせいただき、当バラ園の今後の運営方針を決める上での資料とさせていただきます。結果は統計的に処理しますので、回答内容について特定の施設名や個人が特定されることはありません。

実施責任者 日本大学生物資源科学部附属農場
植物資源科学科

1) ご所属の施設についてうかがいます。最も当てはまるところに○をつけてください。

⑤ 種別 : 教育関連施設 ・ 医療関連施設 ・ 福祉関連施設
その他 ()

⑥ 所在地 : 藤沢市内 ・ 藤沢市外 ・ 神奈川県外 (都道府県名)

2) 開園中、当バラ園にはどの程度いらしていますか？

① 始めて来園した ・ 定期的に来園している

② “定期的に来園” されている場合、どの程度の頻度ですか？

数年に1回以下 ・ 年に1~2回 ・ 年に3~10回 ・ 月に1回 ・ 週に1回以上

3) 本日ご来園された方々についてうかがいます。

① 何人でいらっしゃいましたか？ () 人

② 来園された方々の年齢層は？ 様々な年齢の方がいらっしゃる場合は最も多い年齢層をお答えください。

10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70歳以上

4) 本日ご来園された目的について

① 来園された目的として当てはまる箇所全てに○をつけてください (複数回答可)

年中行事の一つ ・ バラを見て楽しむ ・ バラの香りを楽しむ ・

気晴らし ・ 散歩

その他 下欄に自由にお書きください。

5) 当バラ園をご覧になっていかがだったでしょうか？

ご覧になった皆様の様子として、当てはまる箇所全てに○をつけてください。(複数回答可)

- () 1. 気分がリフレッシュできたようだ
() 2. 日常のストレスが軽減されたようだ
() 3. やる気がでてきたようだ
() 4. 会話が弾んでいた
() 5. 表情が穏やかだった
() 6. その他 下記に自由にお書きください

6) 当バラ園の地域での役割についてご意見をお聞かせください。

下記の中で当てはまる箇所全てに○をつけてください。(複数回答可)

- () 1. 散歩コースとしてちょうど良い
() 2. 外出先として貴重な場となっている
() 3. 花の開花で季節を感じることができる場となっている
() 4. 複数種類のバラを見ることができる貴重な場となっている
() 5. その他 下記に自由にお書きください

7) 次のご来園について当てはまる箇所1つに○をつけてください。

是非また来園したい ・ 来園したい ・ どちらかというと来園したい ・ 来園しない

8) 今後の当バラ園の無料開放について、ご意見をおきかせください。

当てはまる箇所1つに○をつけてください。

是非続けて欲しい ・ 続けて欲しい ・ どちらかというと続けて欲しい ・ 続けなくて良い
その他 下欄に自由にお書きください。

ご記入いただきありがとうございました。